

# 「道の駅」建設事業に着手

平成20年3月に策定された、「道の駅」基本構想・基本計画の方針に基づき、道の駅建設協議会や建設計画策定委員会での協議・検討を重ね、全体のレイアウトや建築物の規模、形などの基本設計が完了しました。

建設用地は、新4号国道と県道笹原・二宮線の交差する北東側で、江川・五千石土地改良事業の換地により創設された、3.3haの用地を国土交通省（1.4ha）と市（1.9ha）が取得します。

施設整備については、トイレと情報発信施設を国土交通省が整備し、地域振興交流施設「（仮称）道の駅しもつけ」を市が整備します。この施設の延べ床面積は約2,000㎡（約600坪）で、農産物直売・物産施設が約650㎡、レストランが約300㎡、加工施設が約200㎡、コミュニティ施設・体験学習施設が約320㎡、事務室・倉庫等が約280㎡、その他付帯施設が約250㎡となっています。

現時点の概算事業費は土地代を含め、全体で約18億円を予定しており、うち市整備分約12億円、国整備分約6億円で進めています。財源については、農林水産省の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金と合併特例債を予定しています。

建設スケジュールについては、今年の夏頃から盛土工事に着手して、年内に建築工事を発注し、その後、駐車場・修景施設等の整備を進め平成23年3月の工事完成を目指します。

管理運営については、第三セクター設立準備検討会を昨年10月に設置し、運営計画、収支計画、出資金などの設立構想や支配人兼駅長の選定方法等を検討してきました。今後は設立準備のため、出資者を構成員とする発起人会を開催し、会社設立に関する基本的な事項の検討や生産販売計画、商品・メニュー開発等を進め、平成22年秋に第三セクター（株式会社）を設立して、開業準備期間を経て、平成23年4月オープンに向けて取り組んでいきます。

全体計画  
平面図



問い合わせ先

道の駅準備室  
☎48-2119